

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立昭和高等学校

全日制課程

1 計画の概要

本校は、平成17年度から本事業を継続展開している。これまでの取組に加え、昨年度に引き続き教科「奉仕」における実践も具体的な取組事例として報告するところである。この事業は、本校生徒にとって異年齢交流の機会として大変有意義であり、また、地域との交流により学校理解が進み強固な連携が図られるとともに、生徒募集対策の上からも貴重な場であることが認められている。

平成20年度の本事業計画の概要は以下のとおりである。

- (1) 夏季休業中に2日間、「奉仕」体験活動を実施し、自己有用感の醸成を図った。生徒は個人の希望に応じた受入先に伺い、体験活動を実施した。
- (2) 体育系部活動（ソフトテニス部など）が中学生を招待し、一日体験入部を実施した。

2 実施内容

(1) 「奉仕」体験活動における取組

奉仕検討委員会が、本校近隣地域及び青梅線・五日市線沿線の受入先を55か所開拓した。具体的には高齢者福祉施設、幼稚園・保育所、小学校、特別支援学校などが挙げられる。右写真は、保育所での幼児との水遊びの様子である。



(2) 部活動による交流

8月と11月に上記の部活動の生徒が、事前に申し込んだ中学生に対して、基礎的な技術指導をはじめ、競技の基本事項の指導等も含め合同練習を実施した。

3 成果と課題等

【成果】

- (1) 生徒一人一人が生きた「奉仕」体験活動を実施することができ、地域などからも好評を得た。
- (2) 参加した中学生の多くが、本校生徒の指導や助言にあこがれを感じ、本校への入学志望をさらに強めた。
- (3) 地域の方々が本校生徒の理解を深めることができた。

【課題】

- (1) 受入先との綿密な打合せの必要性、巡回教員の確保などの課題が残る。
- (2) 屋外での活動団体においては、雨天時における対応の徹底が課題として残る。
- (3) 「奉仕」体験活動については、次年度で3年目を迎えることになり、成果検証の必要がある。

